

東日本大震災 石川民医連支援ニュース

No.28 2011年4月21日

石川民医連事務局

TEL 076-253-1458

支援募金878万円に！

4月21日現在で石川民医連全体の募金は878万円になりました。目標は1千万円です。引き続きご協力を！全日本民医連の募金の到達は1億9600万円となっています。支援者は2168名になりました。宮城民医連の災害復興ニュースによると宮城民医連で職員4名が亡くなった他、けが13名、家族の死亡や行方不明が33名となっています。

今宮さん(やすらぎ)のレポートから

18日朝、東京に向かうシャトルバスに便乗し今宮さん、平元さんは宮城野でおろしてもらいました。「主な被災状況と宮城野の里の中の案内をしていただきました。宮城野の里の中自体は、大きな損傷なかったみたいですが、玄関前が沈下して大きな段差になっていたり、階段が一部欠けていたり…職員の方でも、被災された方ももちろんいて、なかなか現状、現実を受け入れられない。復旧のめどがたたずライフラインがつながらない、先が見えない不安がとても大きかったと。その中でも、民医連など横の繋がりがあったおかげで、支援物資やボランティアが来てくれて助かっている。との事でした。

僕たち支援者の任務は、①ケアハウスの食堂を借りてつくられた避難所（通称：まるふく）に避難されている方たちの援助。②併設するデイサービス、ショートへの支援。皆さん、職員の方含めみんな良い方ばかりで暖かく迎えてくれました。明るくよく話してくれる方が多いです。支援前の想像では、入居者がごったがえしていて、大変っていうイメージでしたが、ゆったりと皆さんすごされていて、正直拍子抜けしてしまったのと、もっと大変な所があるだろうに、自分もゆったりと一緒になって過ごしていくのかなと」



橋爪さん(保険医協会)のレポートから

午後から、多賀城高校プラスバンド部による演奏会が開かれた。30分という短い時間であったが、避難所のみなさんは涙目で拍手をしながら聴き入っていた。私も2曲聴かせてもらったが、本当に感動した。学生さんたちの中にも被災した子たちがいるだろうに…若いチカラにこちらが励まされた。

避難所の方にできる医療は限られている。投薬は3日分厳守。全ての患者を坂病院で診れるわけではないので、慢性期疾患の方は特にかかりつけ医にかかるべきようすすめている。しかし、避難所からタクシー等で通院できるのか？疑問が残る。

派遣メンバーに歯科医師が加わったため、口腔ケア巡回が行われた。津波で入れ歯を流されてしまった人がいて、歯科クリニックを紹介。口腔ケア面だけでなく、心のケアも含め、訪問者一人ひとりに時間をかけて話をするように心がけている。

支援隊募集中！

4/23出発の第7次支援隊は柳沢 Dr.中村 Nrs.、谷口 CW(寺井)、佐野放射線技師、松田検査技師、津田歯科衛生士です。4/30出発の第8次隊は生方 Dr.、池端さん、乙丸さん(なんぶやすらぎ)他1名募集中です。5/14(土)～18(水)の第9次、5/19(木)～22(日)の第10次支援隊はまだ決まっていません。ぜひ応募して下さい。